

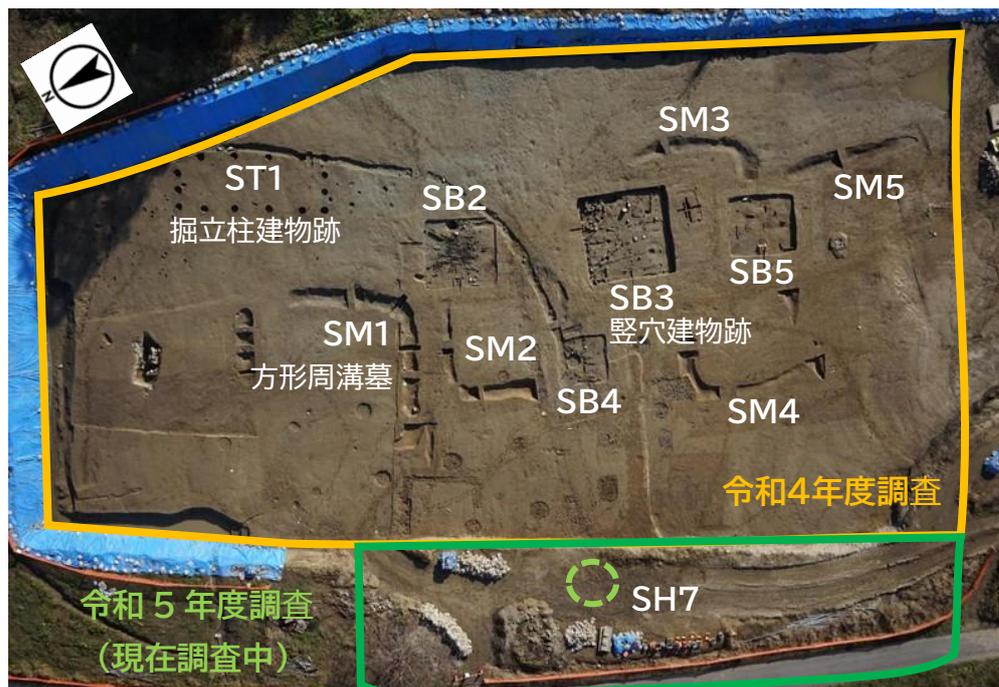
川原遺跡 発掘調査だより

2023.6.16

4月から川原遺跡の調査を行っています

川原遺跡の発掘調査は、令和4年度から行っており、今年で2年目になります。

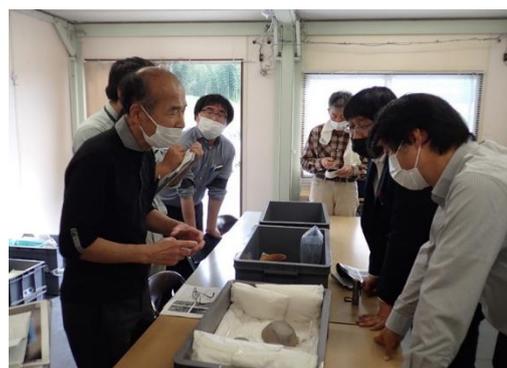
本年度は、令和4年度に確認した古墳時代中期の竪穴建物跡と弥生時代後期～古墳時代初期の方形周溝墓の調査を継続して行っています。



令和4・5年度調査区（上：南東、下：天竜川）

くだら 百済土器の発見

令和4年度の調査で、古墳時代中期の竪穴建物跡（SB4）から出土した土器が、百済で作られた「百済土器」であることがわかりました。5月10・11日に専門の先生に現地で確認していただいたもので、飯田市では3例目となります。



百済土器現地指導（5月10日）



百済土器

くだら
「百済土器」とは

朝鮮半島の百済国
で作られて、日本に持
ち込まれた土器です。



縄文時代の遺構

今年度、北西側(天竜川側)に拡張した調査範囲から縄文時代後期の人為的に配置された配石遺構(SH)がみつかりました。

このうち SH7は、拳大から人頭大の多くの川原石とともに縄文土器や石器が出土しています。中でも石棒が2点(矢印の位置)出土していることが特筆されます。また、石囲炉いしがいろがあることから調査が進むと敷石住居跡しきいしじゆうきよあとと判断できるかもしれません。



縄文時代後期の配石遺構 (SH7)

これからの調査

現在調査中の弥生・古墳時代の調査を6月末までに終えて、7月からは縄文時代の遺構面を中心に調査をおこなう予定です。

さらに、新たに北側にも調査範囲を拡張するので、新たな遺構の広がりを確認することとなります。

現地公開を行ないます

日時：令和5年7月4日(火)～7日(金)

午前10時30分～11時30分、

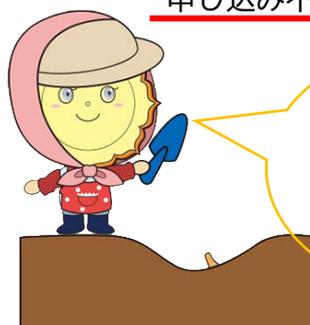
午後1時30分～午後2時30分

※発掘現場での説明は、適宜おこないます。

申し込み不要 ぜひお越しください。



発掘作業の様子



まだまだ新しい発見の可能性が
あります。
本年度もよろしく
お願いします。

長野県埋蔵文化財センター 飯田支所

担当：春日 遠藤

TEL:0265-49-0736

(現場携帯:080-1320-0216)

メール:maibun@naganobunka.or.jp

H P:https://naganomaibun.or.jp